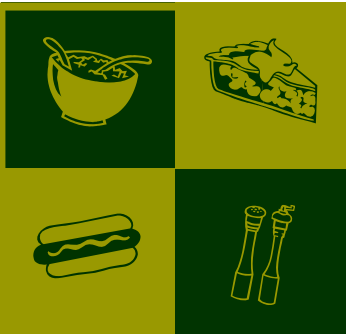
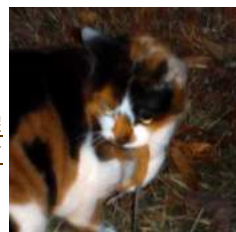


# ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」  
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ  
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

夜の大捜査線  
 眼光鋭くハナ  
 14匹目捕る  
 11.17撮影



「ナナミちゃんの農事通信」は、第1号2005.7.12から2017.11.30までの12年間、お読みいただき皆様や山口工務店の方々に支えられ、300号までたどりつけたことに感謝しております。今回は過去の農事通信を付録し、自身も読み返し「初心」を忘れずに、これからも続けて行きたいとおもい、今後よろしくお願ひいたします。

## 1 冬の前に芋掘る



11.15↑淡柿の周り半日陰に、コンニャク芋や大和芋を植えていた。

残ったツルや支柱を片付け、降霜で腐る前に急いで芋を掘り冬越しの準備、狭い畑を耕し冬用にかえています。



↓大和芋は猪に食べられ全滅!! こぼれていたムカゴや残っていた芋の茎を植えたが、夏の長雨などで芋類の育ちは悪かった、来年こそは。



↑コンニャクの枯れた茎



↑茎を抜くと芋の芽が

↑小さいので来年も育て、コンニャク作り。  
 →左のコンニャク芋は四個ほどコンニャク作りに、後は種芋。  
 →右の小さな気子などは四年かけて食用に。

↑大和芋は来年の種用ばかり。



## 2 「ナナミちゃんのお宿」は？



↑カカの野菜畑サラダからミニトマトの彩りが消え、曙大豆や水菜が登場。→デザートに白玉田舎汁粉、小豆の風味をどうぞ



↑薪ストーブの炎がゆれ、天板には鍋料理が温められて。ノ一組のランチも終り閉店、カカは看板を店内へ。お出でいただき、ありがとうございます。



冷え込む日が多くなり風の吹く日も、お宿軒先で干柿作り日差しに寒さと風で、今年こそは良い干柿が出来そうです。お宿のカフェでは、コーヒーに干柿のスティックもお出ししております。

## 目次

1 冬の前に芋掘る	1
2 「ナナミちゃんのお宿」は？	1
3 庭畑の野菜	2
4 畑の野菜	2
5 十一月のお味	2
ナナミちゃんの農事通信	3
1号の復刻版(300号記念)	4

## ハイライト

11月22日「小雪 しょうせつ」本来は、降雪こそあるもののまだ少ないことを意味するが、そこから転じて、寒さが進み、わずかながら雪が降り始める頃を意味する言葉となった。気象庁では、数時間降り続いても、1時間当たりの降水量が1mmに満たない雪を小雪とする。明野でも急に寒くなり曇天に薪ストーブを焚き、干柿をもんで柔らかくする作業でかじんだ指先を温めています。小雪と言



11.22生け垣にヤマツツジ咲く、帰り花

えば!! ウイスキーの商業シャルが浮かぶ季節に。「風花」は、まだ八ヶ岳などから舞って来てはいません。庭をみればヤマツツジや西洋シャクナゲの「帰り花」が、小春日和があったのででしょうか、「帰り花」と言えば、身請けされた遊女が、ふたたび廓へ勤めに出ることをさすようになった。とか風花を天泣てんきゅうともいう。なぜかせつない。



### 3 庭畑の野菜は



ノから続き 会員様からの注文で手作り味噌にジャム、さしす梅酢を段ボール箱へ。もうお一人へも宅配便を、忙しく楽しそうな力、ごころうさん。

←11.11夕方、庭畑の野菜を収穫し袋詰め。↓11.12お野菜会員へ宅配便、人参・原木椎茸・水菜・白菜・長ネギ・ホウレン草・小松菜に菜の花・チンゲン菜・大根・玉ネギノ



←11.12遅れていた絹サヤの種を二畝に蒔き、冬野菜「かき菜」の種蒔き、↓11.15急いで、他にサラダホウレン草・ホウレン草・チンゲン菜・サラダ水菜・小松菜・タアサイの種蒔き、春の苗用にキャベツとブロッコリーの種も蒔き、厳寒を大事に育ててゆく。↓雪に備えトンネルで霜除け対策。



←絹サヤの種蒔きマルチの穴に四粒を、自家採種の種目を一粒多目の発芽対策



夏のツル野菜を片付け、畑ではコンニャク芋に大和芋を掘り、後を耕し冬に備える。夏の長雨などで、玉ネギ苗の発芽が悪く、来年の玉ネギは激減。芋類も育たず、小さくて来年の種用がやっとです。悪い事ばかりではなく、大納言小豆など豆類は出来が良く、庭畑は冬野菜の種蒔きが忙しく、霜や雪除けの冬支度も進んでいます。



↑11.16寒波がくる予報、ナナミちゃんのお宿前の畑でも、トンネルに雪除けの補強をし、ネットを二重に、野菜冬越しの準備が終わった。



### 5 十一月のお味

冬の夜長は、鉄瓶から湯気立つ囲炉裏で渋茶、カカとトトとハナの二人と一匹。話すことと言ったら、遅れている畑仕事に干柿の出来具合など。話の合間につまむモノは、家にある保存食でチョコッとカカが作る。何とはなしに年が過ぎ。



↑11.16面白そ〜と「NHKきょうの料理」を見て「黒豆おこわ」を作る

↓11.20今年は大納言小豆の出来良く、「おはぎ」甘い餡が渋茶にあります。



↑丹波黒豆も梅干しも作ってモチ米だって沢山備蓄、レシピ本も買ってある。ほんのり桜色で黒豆の味がわかる ご飯!!



→甘い茶菓に飽きたら、口直しは「揚げアラシ」餅をつきアラシを干して瓶で保存。カリッ!! 醤油味とカレー味が旨い。



### 4 畑の野菜は



↓11.19青首大根の収穫、夏蒔き人参も収穫、出来はマズマス。

ノ11.19大納言小豆の後を耕し、カカは肥料を施して↓玉ネギ用にマルチ張り、11.25と26日で玉ネギ苗を植えた。苗の出来悪く激減!!



←↑11.21ホウレン草も寒さで甘味が出てきた。一番早い65日結球の白菜も収穫、↓ブロッコリーはやっと二個だけ収穫、ノサラダ用大葉春菊の葉を食べると、少し甘味をかんじ。野菜類はガンバッテいます。







# ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」  
「土と人情」に囲まれた。ナナミ  
おばさんの「私、土の子」奮闘記

## 1 小暑・七夕は、豆の種まき時 黒豆、大豆、小豆とパンダ豆??

6月初旬から7月初旬までは、農作業の節目に当たる。明野の農家では、田植えや玉葱とジガイモの取り入れ、豆蒔きに忙しい。

そのような日々も、南アルプスに続く山並みと、薄緑の絵の具を流したような棚田を見ると「日本の原風景」を思わせホッとします。

玉葱の取り入れを済ませ、ダンナに耕運機を入れてもらい、黒豆、大豆、小豆とパンダ豆??を蒔きました。昨年は、日照り続きの空梅雨で豆類は不作でしたが、今年は「元気に芽が出ていて、私たちも元気のお裾分けを買ったよう」

豆類の蒔き時は4月初旬にインゲン、5月初旬に落花生が2種類とササゲ。落花生は味がそれぞれ異なりおいしい、冬の薪ストーブで炎を見ながら煎り。ササゲは赤飯に、豆の匂いや、ふっくらとした噛みごたえがたまりません。畑を始めた動機は「おいしいものを腹イッパイ」でしたから。そうそう、6月は絹さやとグリーンピースの収穫で忙しかったっけ。

右の写真、人参の畝続きにオカヒジキを蒔いて、その左側4畝が落花生。黄色い花が今盛り、花が地中に伸びて豆に変身。



落花生の黄色い花→

## 2 名前が解らない豆 パンダ豆、「うまいけれど??な豆」

パンダ豆は、地元の農家からいただいた。農家のおばちゃんが「煮崩れがしないから、作ってみるケエ」。「おばちゃんなんて言うの」「知らんパンダの毛並みに似てるだろ」。ウーン、私は魚のシャチ柄に見えると思った。写真右のパイプフレームにパンダ豆。隣に小豆と人参の種蒔きを終えたところ。

最近もブドウ農家のお手伝いに行って、豆の種を買いました。「おじさん、なんて言う豆」、「知らねエ、でも旨いソ」・・・

実物は、晩秋の収穫時期にご期待を。



### 目次

1 豆の蒔き時	1
2 名前が解らない豆	1
3 好きな野菜!! 食べたい野菜??	2
4 トマトの雨宿り	2
5 人情四方山話 「おじさんと物知り」	2

### ハイライト

・創刊号にて廃刊なんてならないように、土の匂いがお届け出来ればと想っています。

・先日、明野へ夜着いたとき、田んぼの畦を夏毛への衣替えてホコロビだらけのマントをひるがえし、キツネが車のライトの中を走り抜けました。

また、隣家のご主人が「佐藤さん、屋根の棟に猿が2匹座っていたヨ」て。犬が激しくほえるので判ったそうです。

明野付近では、猪や鹿が出て車に当たったとか話を聞きますが。もちろん、蝶も飛んでいます・・・??。

### 3 好きな野菜!! 食べたい野菜??

「聞いたことの無い野菜」「食べたことの無い野菜」そんなものを作るのが楽しみ。歯ごたえの良いオカヒジキ、シャキシャキ感の空芯菜(双葉が朝顔に似た、別名 朝顔菜)、梨と蓮の様な味と食感のヤーコン芋、香味がクセになるルッコラ、ジャムに美味しいブラックベリー等いろいろ。

今年のチャレンジは、ジャガイモ8種「メイクインに男爵と省エネジャガイモきたあかり、赤い皮のレッドムーンにアンデスレッド、栗の食感インカのめざめ、紫お肌のジャガキッズ パープル、フランス生まれの色白シンシア」8種混合おならの香り??と「薪ストーブで焼くジャガバタ」をイメージしながら、額に汗して土を友達に奮闘しています。

無農薬のジャガイモ作り。ジャガイモの害虫はてんとう虫、ジャガイモの葉っぱを食べて、葉脈だけの網のようになってしまいます。多い日で860匹も手でつぶし、七星てんとう虫はアブラムシを食べてくれるので益虫、虫の星を数えて疲れます。もちろん遺伝子組み換えには縁も無く、保存用の発芽抑制等も施してはおりません。



↑メイクインとシンシアを収穫中。

きたあかり「おいしいヨ」→



### 4 トマトの雨宿り

今年は「トマト作りに本腰をいれるゾ」と決意も固く取り組み中です。いつものトマト農家は労働のきつさから、ゴーヤ栽培に切り替えてしまい。

今回は色々なミニトマト苗を植え、雨が当たって玉割れしないように、娘たちのビニール傘を数本失敬して覆いにしました。

ミニトマト苗を買ったのに、育てみたら普通のトマトだったり、カラス等の害鳥避けのネット張ったら、自分からまったり。生育良好なミニトマトの脇芽を欠いて、挿し芽で経費節減の苗作りで大忙し。



鈴なりミニトマト熟してヨ→



### 5 人情四方山話「おじさんて物知り」

明野の我が家で工務店がOMソーラーの展示会を催しました。何組もの見学者の中に、息子夫婦と来たおじさんが桃やブドウを栽培しており、出荷できないハネダシがでると聞いたので、「これを逃してなるものか」と連絡先を聞いておき、尋ねてみると去年に奥さんを亡くし、一人で農作業に手が回らないとのこと。

ここで農業お助け隊出動とばかり、おじさんの昼飯も用意して夫婦で朝から出かけました。亡くなった奥さんが眠る菩提寺山門にある畑で初めてのブドウの笠懸け仕事「奥さんの手間代わりだネ」、「ソーヨ、ここから墓が見えるサ」。亡くなって女衆の家事仕事の大変さが解ったそうです。

ブドウが5種、ラフランスより大きな洋ナシや太陽より大粒のスモモなど栽培してありました。お土産に愛娘と言う焼き芋がおいしいサツマイモ苗を買い、植え方の実習を受けて夕方に帰宅しました。「また、お手伝いに行くからネ」



苗は、船底に掘って植えるんだ、肥料はいらネ→フムフム…ナルホド

